

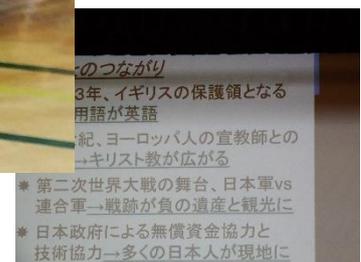
6年生 JICA 国際理解教育

JICA の海外協力隊として2年間活動をされた方を講師にお招きし、特別授業を行いました。派遣先のソロモン諸島の生活の様子、SDGs に絡めた環境問題などについて、詳しくお話を伺いました。また、地球温暖化による影響や自然災害などについても教えていただきました。海外協力隊としての経験を踏まえ、現在従事している職業に就いたとの話も聞きました。最後に、講師の先生が「今日、自分が感じたことを、また外に発信していくことで学びは深くなりますよ」と、これからの学びに向かう姿勢なども教えていただきました。

子どもたちの感想です。

「日本とソロモン諸島の「当たり前」が違うことが分かった。」「(日本とソロモン諸島を比べると、) 小さな地球の国々の中で、こんなにも生活習慣や暮らし方がちがうのかと驚いた。」

「その島その島によって、生きるための工夫をしているんだなと感じた。」



「その国々の発展に関わってみたいと思った。」

ソロモン諸島の生活の実際を具体的に知る中で、子どもたちは、SDGs の目標の一つである「安全な水」に関する点について、課題を抱えている国があることを知りました。熱心にメモを取り、質問もたくさん出ました。これをきっかけに1学期から進めている SDGs の学びの視野が、ますます広がるとよいと思います。